

令和3年度 大阪府立茨木西高等学校 第3回 学校運営協議会（記録概要）

第3回学校運営協議会は、3月に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症に係る状況を勘案し、郵送やメール等によりご意見等を聴取することで、会議の開催の代替としました。

「令和3年度 学校教育自己診断」の集計結果や「令和3年度 学校経営計画」の達成状況、「令和4年度 学校経営計画（案）」を学校運営協議会委員のみなさまに送付し、それについてFAXまたはメールでいただいた意見をまとめ、学校運営協議会委員の了承を得たものを、「令和3年度第3回学校運営協議会議事録」とさせていただきます。

協議会委員：

・委嘱委員（敬称略）

会長	山本 稔	大阪リゾート&スポーツ専門学校・大阪医療秘書福祉専門学校・大阪こども専門学校 校長
副会長	谷 郁夫	ITコンサルタントふるもん
	山田 泰司	茨木市立西陵中学校 校長
	山田 咲生子	代々木ゼミナール大阪南校
	田原 正也	地域代表
	中田 エミ	保護者代表

・校内委員

校長、教頭、事務長、首席2名、進路指導主事、1年学年主任、2年学年主任、3年学年主任

○「令和3年度 学校教育自己診断」の集計結果について

（山本稔会長）

- ・ 生徒アンケート結果について、全体として評価する。特に③で高い数値89%となっているが、新型コロナで他の学校もリモートで授業していると思われるが他校と比べて多いか少ないか多ければ高く評価したい。
⇒ 近隣他校に比べて多いと自負している。

（谷郁夫副会長）

- ・ 2年生から3年生への1年間の改善がめざましい
- ・ 生徒について以下の点を評価
 - 1) 学校に行くのが楽しい：あまりそう思わないが急減 そう思うが+13%
 - 2) まじめな態度で：あまりそう思わないが58%→50% そう思うが急増 28%→45%
 - 3) 情報機器の活用：そう思うが急増 28%→52%
 - 4) 他の先生が授業に：そう思うが増加
- ・ 保護者について以下の点を評価
 - 2、子供が授業をわかり やや当てはまるが急増し、よく当てはまるを含め 多数を占めるようになった
- ・ 1年生から2年生への1年間には以下の点に課題がありそう
<生徒>

4. 他の先生が授業に観に来る 5. 先生の指導に納得できる にまあそう思うの低下がある。
<保護者>

1. 子供が学校に行くのを楽しみに : よく当てはまるが 25%→17%へ

(代々木ゼミナール・山田委員)

- ・ 3年生については、「学校に行くのが楽しい」という質問に対する「とてもそう思う」の回答率が、令和元年度（1年生時）=31%、令和2年度（2年生時）=23%、令和3年度（3年生時）=36%となっており、感染症対策を取りつつも、学校生活を最大限楽しめるようにさまざま工夫された結果、コロナ以前と同水準の満足度を生徒が得られていることは、非常に意義の大きいことと存じます。

○「令和3年度 学校経営計画」の達成状況について

(山本稔会長)

- ・ 1 確かな学力 (1)生徒の学習支援 イ長期休暇中の講習参加者数は、評価に値する。
具体的な内容はどんなものか。
⇒ 長期休暇中の講習は、主に受験対応を念頭に置いたもので普段の授業より難易度を上げて実施している。
- ・ (2)授業力向上 イの2項目は判断通り評価する。
- ・ 5 生徒に向き合う力 (1)チームで生徒と向き合う イの時間外労働の新システムと旧システムの違いは何か。
⇒ 新システムでは、学校外での教育活動時間についてもより厳格に積算するようになっている。
- ・ 他の◎○△は記載通りで合意する。

(谷郁夫副会長)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、着実に改善項目が増えており、覚前校長や教職員さまのたゆまないご努力に感謝いたします
- ・ 1. 確かな学力 ((1) 新指導要領・) (イ講習への参加延人数 120名以上→316名に急増 を評価
- ・ 1. 確かな学力 ((3) イ主体的・) (イ主体的・対話敵で深い学びに取り組む教職員の割合 55→89%に急増 を評価

(代々木ゼミナール・山田委員)

- ・ 5-(1)-イ「月当たりの時間外労働」について、学校外の教育活動が先生方の負担の大きな一部となっていることを改めて認識いたしました。実態の把握や原因究明、改善と、さらなるご苦勞が続きますが、御校の継続的発展のため、引き続きよろしく願いいたします。

(地域代表・田原委員)

- ・ めざす学校像については茨木西高の伝統を継続したもので今後もしっかりとめざして欲しい。
- ・ 中期的目標の確かな学力、志高く社会を切り拓く力、自己肯定感を持ち社会人として自律する力を育む、自分の周りの人、地域、世界とつながる力の育成、教職員の生徒に向き合う力の強化について、高校生としての目標の学力向上は当然の事で計画通り実施されている様であるが、コロナ禍の影響により場所や時間等の制約で満足ゆく成果が得られなかった項目も

多々あったと推察される。現場で指導されている先生の苦勞はいかばかりかと推察される。その中で一定の成果を遂げることは苦勞の連続ではなかったかと思われる。

- ・ 適切な進路指導もされている点は評価できる。自律する力も、各種計画された項目がコロナの影響で中止、縮小を余儀なくされたものもあった様であるが、その中での成果は評価できるものである。
- ・ つながる力で、生徒会・各種部活活動にあっても2年前から場所時間の制約で満足のゆく成果が出なかつたり出来なかつたりと、苦勞されたのではないかと推察される。その中での活動の継続は評価できる。
- ・ 生徒に向き合う力、学習指導、西高の一人一台の端末を使っての学習指導は一早い取り組みでモデル校として選出された点は高く評価できる。
- ・ 中長期的目標はある一定の成果は達成できたので全般的に評価できるものである。
- ・ 前任の中山校長先生始め、現校長の覚前校長、教頭先生、各先生方の生徒に向き合う教育者の姿を垣間見て、全ての先生が真摯に取り組んでおられるので地元代表として有難く感じるところです。ここ数年で生徒の朝の通学時又は下校時の自転車での通学姿勢を見る限り非常に良くなったと感じることのできるのは、先生方の指導の成果ではないかと感じます。5年間協議員として携わりました事、ありがとうございました。後任の地元代表協議員の方も私同様ご指導の程よろしく願いいたします。

(保護者代表・中田委員)

- ・ 卒業式を無事終える事ができほっとしています。なにかと制約のある中での学校生活でしたが、今となってはすべていい思い出になっている様です。入学当初は学校や友達に馴染めるか心配でしたが、常に学校が楽しい、学校に行きたい、しか言わなかつたので、茨木西高校で良かったです。ありがとうございました。

○「令和4年度 学校経営計画(案)」について

(山本稔会長)

- ・ 2 中期的目標は、記載通りで了解。
- ・ 3 本年度の取り組み内容及び自己評価 1 確かな学力 (3) 授業力向上 の新規である Chromebook の具体的内容と活用方法を説明してほしい。
⇒ 授業中の生徒同士の協働学習や授業の振り返りおよび小テストの実施、自宅待機中の生徒のリモート参加などに活用。
- ・ 2 社会を切り拓く力 (1) キャリアサポート イ 卒業生による・・・ を新規で入れた理由は何か。
⇒ 生徒自身が自らのキャリア形成の意識をより強く意識してもらうための取り組みと位置付けている。
- ・ 4 つながる力 (1) HR 活動、生徒会、部活動の活性化 イ オーストラリア語学留学の・・・ について来年度の見通しと今後の方針についてどう考えているのか。
⇒ 来年度の実施は正直難しいと考えている。しかし、提携校との関係を絶やさないための努力を継続し、再開できる日に備えたい。
- ・ 5 チームで生徒と向き合う アの新規の支援教育委員会の設立と SC の定例参加は具体的な意図と方向性は何か。
⇒ 近年本校に限らず支援教育の対象生徒は増加傾向にあり、担任が孤軍奮闘する傾向があった。そのため、支援教育委員会を立ち上げチームとしての対応と様々なノウハウの蓄

積をめざしたい。SCの定例参加は、専門的な知見を反映させるためである。

- ・ 令和4年度分については、集計中の項目も多く次回の協議会で正式に承認すべきだと思っています。

(谷郁夫副会長)

- ・ たゆまないご努力に期待します
- ・ 以下の点を評価
 2. 中期的目標（3自己肯定感をもち）（ロッカー前遅刻）2,250→2,200
 3. 本年度の取り組み・・・（1確かな学力）（3）イ主体的・・・（Chromebookの授業活用率75%以上）

(代々木ゼミナール・山田委員)

- ・ 2-(1)-イ「卒業生による分野別説明会の実施」は、非常に良い取り組みだと思います。実施された際には、内容や生徒の反応などをお伺いしたいです。
- ・ 3-(2)-ア「ネットトラブルの対応に関する講演会」も、時代に合わせた適切な実施だと思います。こうした重要な話は「普段から聞いている上で、講演で改めて聞く」ことにより、生徒への訴求力が増すと考えますので、普段からの授業・生活指導でも、引き続き同内容をご指導のほどお願いいたします。